

青い鳥のお仕事をのぞいてみよう！

～療育センター・外来担当看護師の場合～

<何をする人？>

外来（小児科・児童精神科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・摂食外来）の診療補助、診療予約、相談（窓口・電話）、他部門との調整などを行います。

<支援の対象はどんな人？>

乳幼児期～学齢期までの発達の相談を希望する保護者、お子さんです。

<どんな支援をするのか教えて！>

お子さんへの支援：診療の中で、お子さんが安全に過ごせるように配慮し、お子さんが楽しめるような関わりを行います。

保護者への支援：保護者の話を聞き、相談内容に合ったサービスが受けられるように、診療の案内や他部門との調整を行っています。

<ある一日の流れ>

09:00 - 12:00

【小児科・児童精神科初診】



お子さんの知的発達・あるいは行動・情緒に心配がある場合に小児科医、または児童精神科医が診療を行います。初診の時間は約60分です。ソーシャルワーカー（SW）が保護者と面接をして聞き取った内容を医師と聞き、ニーズの方向性を確認します。安全に配慮しながら、お子さんが楽しめるように、おもちゃの提示を行います。

医師の指示で、身体計測を行います。お子さんと保護者の分離が必要な診療の場合、別の場所で、お子さんの見守りを行います。診療後は医師からの依頼に基づいて心理検査や、言語検査の予約、次回の診療の案内を行います。

【小児科・児童精神科再診】

再診時間は約 30 分です。診療の中で、相談が必要な場合、SW や心理部門などとの調整を看護師が行います。また、投薬が必要な場合、処方内容を確認し、次回の案内をします。処方が継続される場合は、血液検査を行います。

【摂食外来】

食べる機能に心配があるお子さんに対して摂食外来を実施しています。医師・理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）・栄養士・看護師など、様々な職種が関わっています。実際にご家庭で食べている食材を持参していただき、医師の評価のもと、各職種が食べ方や食形態、食べる時の姿勢など指導、アドバイスします。

看護師は、お子さんの身体測定などを行います。



診療で使用する
おもちゃ類

12:00 - 13:00【休憩】

窓から木々の緑が眩しいお部屋で昼食です。診療所もこの時間は受付を休止しています。

13:00 - 16:00



耳鼻科診療用の治療椅子

【リハビリテーション科】

お子さんの運動発達に心配がある場合はリハビリテーション科の診療を行っています。診療の際に、お子さんの反応を引き出せるおもちゃを提示したり、歩行や立位、坐位などの姿勢がうまく取れるように補助を行います。

【耳鼻咽喉科】

お子さんの聞こえ方や、発音に心配がある場合に耳鼻科診療を実施しています。また、通園に通うお子さんの耳鼻科検診を行います。耳鼻科の診療が苦手なお子さんが多いので、不安にならないよう声掛けをし、必要に応じて固定を行うなど、安全に配慮しています。

16:00 - 17:15【カルテ準備・電話対応】

次の日のカルテの準備を行います。診療予約の電話や、電話での相談に対応します。